

「豊橋文学めぐり ～ふるさとの民話をたずねて～」を開催しました！！

穏やかな風が吹き、気持ちの良い天気の下で、5月16日（水）に「豊橋文学めぐり ～ふるさとの民話をたずねて～」を開催しました。

今年度も講師には中島三郎さん、語りには豊橋の民話を語りつぐ会の皆さんをお招きしました。



解説 中島三郎さん



語り 民話を語りつぐ会

今回は3つの民話を語っていただきました。

植田校区 民話「おいしいばち」 車神社講堂にて

二川校区 民話「岩屋の観音さま」 岩屋堂会館にて

細谷校区 民話「一里山の大グモ」 バス車内にて

(参照：片身のスズキ)

なお、中島先生には各地で民話が生まれた背景となるその地域の歴史や文化について解説をしていただきました。

参加された方々からは、

- ・地元のことで知らない話で、ずいぶん身近に感じた。
- ・語りもお話もわかりやすく、文字で読むのとは違って内容が入る。
- ・豊橋にも数多く民話があることを知り、豊橋の地に愛着がわいた。
- ・民話の話が素晴らしくて話に引き込まれてしまった。
- ・個人ではなかなか行けないところにバスで連れて行ってもらったのが良かった。

などのご意見をいただき、発見と出会いに溢れた意義のある時間となりました。



車神社にて



岩屋の観音様が見つめる先には
何があるのでしょうか？

今年度も講師、語り手を始め、多くの方々のご協力により、参加された皆さんにご満足いただけた1日となりました。ありがとうございました。

また、今年度は図書館開館100周年記念行事として7月から連続民話講座「歴史と伝承（大人向け・要申込み）」・「豊橋の民話を楽しむ（子ども向け）」を開催していきます。詳しくは広報とよはし7月1日号をご覧ください。

是非、今年で100歳の図書館にお越し下さい。